

# デジタル技術の活用及び DX 推進の取組状況

## ① デジタル技術が社会や自社の競争にどのような影響を及ぼすか

デジタル技術の進歩はめざましく、今や、パソコンやスマートフォン、インターネットが生活や事業活動を行う上で不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術は進展し、我々にとってさらに重要なインフラ・経営資源になる事は明らかです。このような社会状況の中、当社事業を成長発展させお客様のお役に立つためには、デジタル技術を活用した生産性の向上とお客様の利便性の向上が不可欠であると考えております。

## ② 経営ビジョン及びビジネスモデル

堅牢なセキュリティー体制の整備を前提に、お客様情報や事務管理の全てをデジタル化し、迅速且つ正確なサービスを提供できる体制を構築致します。これにより、お客様の利便性の向上と満足度の向上及び、当社の生産性の向上を図り、末永くお客様とお付き合いできる企業を目指します。

## ③ 経営ビジョン・ビジネスモデルを実現するための戦略

「最先端ドローンと画像解析システム」を活用した外壁・橋梁の点検サービスを開始します。AI機能による非GPS下での安定飛行や多彩な画角での撮影といった革新的な機能を持つドローンと点検データを高精度かつ高速で分析できるシステムによって、質の高い点検サービスを提供し、顧客満足度と利便性を大幅に向上させます。

## ④ 戦略推進のための体制・組織

代表取締役上田が CIO (最高情報責任者) 及び CISO (最高セキュリティ責任者) を兼務とすることで、代表から全組織へと上記戦略を浸透させ、デジタル技術を活用して高い競争力を持つ企業体制を構築してまいります。

将来的には、IT コーディネーター有資格者又は IT パスポート資格者を 1 名以上、情報システム部門に所属させることを目指します。

社内外の研修や勉強会に代表及び従業員が参加し、情報システムに精通した人材を育成します。